



PRESS RELEASE

報道関係各位

2022年11月3日

**カリフォルニアワイン協会が
「グローバル・バイヤーズ・マーケットプレイス」をナパ・ヴァレーで初開催
世界中のワイン輸入業者やバイヤー、州全土の生産者を一堂に集結した商談イベント**

現在のワイン輸出売上 14 億 7000 万ドル(約 2,176.5 億円)を伸長させ、世界のワイン市場でより大きなシェアを獲得するビジョンを表明

カリフォルニアワイン協会は 10 月 31 日(月)にナパ・ヴァレーで第 1 回の「グローバル・バイヤーズ・マーケットプレイス」を開催しました。カリフォルニアワインにとって初めての大規模商談イベントとなる 2 日間の会議では、日本からの 7 名を含む 26 カ国 80 名以上のバイヤーと輸入業者が招待されました。カリフォルニア州全土 150 のワイナリーが生産するワインの試飲やマスタークラスなどを通じて、参加者はカリフォルニアワインのトレンドや商業的成功の理由、ワインのスタイルや価格帯の多様性について大局的な理解を深めました。

カリフォルニアワインのシェア拡大を目的としたこの会議に招待された世界各国のバイヤーが関わるワイン販売の規模は、年額にして 100 億ドル(約 1 兆 1,475 億円)と推定されます。参加者は、ワイン試飲や生産者たちとの商談に加え、サステナブルなワイン生産と気候変動対策、その商取引におけるカリフォルニアワインのマーケティングや販売など、カリフォルニアワインの将来に関わる多岐にわたるトピックについて重要な会話を交わしました。



「毎年 100 億ドル以上の売上総額を誇る、影響力のあるバイヤーや輸入業者の方々を世界の主要ワイン市場からお迎えできたことをとても嬉しく思います」と、カリフォルニアワイン協会国際部長のオーナー・コンフォートは述べました。「私たちは購買者と販売者を互いに繋げるパイプラインを構築し、ワイントレードの皆様が普段味わう機会の少ないカリフォルニアワインを、より深く知っていただくための土台を提供しています」



ナパ・ヴァレー・マリオット・ホテル&スパで開催されたこの会議には、カリフォルニア州全土のワイン生産地域から、州内 4,200 のワイナリーを代表する造り手たちが集まりました。参加したワイナリーは、リッジ・ヴィンヤーズ、シルヴァー・オーク・セラーズ、ボワセ・コレクション、ルイ・M・マルティーニ、ハーシュ・ヴィンヤーズ、ウェンテ・ヴィンヤーズなどの著名生産者をはじめ、多彩な顔ぶれとなっています。会議では、場内を自由に回って試飲するグラントテイasting、ネットワーキングイベント、ナパ・ヴァレーおよびソノマ・カウンティのワイナリーでのディナー、ワインエドゥケーターのイレイン・チューカン・ブラウンとケリ・A・ホワイトによるマスタークラスが行われました。

ひとつ目のマスタークラス「カリフォルニアの新潮流」においては、世界で最も革新的かつ敬意を集めている生産者たちが、同州でも最新の醸造学的な発展について説明。チューカン・ブラウンとホワイトが進行役を務めたテイスティングでは、最新のスタイル、ブドウ品種、醸造方法などが検証されました。ふたつ目のマスタークラス「サステナビリティに根ざしたカリフォルニアワイン」では、カリフォルニアワイン業界における持続可能性がつぶさに観察されていました。



革新的な農業技術から代替パッケージングまで、持続可能なワイン造りの最前線に立つ生産者のワインをテイスティングしながら、さまざまなトピックが議論されました。

「極めて幅広い内容のこの会議を実現させるためには、大規模なチームワークと、講演者、ワイナリー、主催者たちの優れた資質が必要でした。この会議は、カリフォルニアが世界のワイン輸出市場において強い力を持っていることを裏付けるものです」と、ローダイにあるランゲ・ツインズ・ファミリー・ワイナリー＆ヴィンヤーズのジョー・ランゲは語っています。「カリフォルニアを訪れることに勝るものはありません。すべての参加者の方々に、ワインとその背後にある素晴らしい物語に親しみながら、この土地を流れるダイナミックなエネルギーを直接体験していただきたいと思いました。今後もカリフォルニアに焦点を当てた国際的な会合を開催し、私たちのワインやブドウ畑との繋がりを世界に広げるための継続的な努力を続けていきたいと考えています」

ナパ・ヴァレーでのイベントの終了後、参加者たちは複数のグループに分かれて、ナパ・ヴァレー、ソノマ・カウンティ、モンレー、パソ・ロブレス、サンタバーバラ、ローダイ、サンタ・クルーズ・マウンテンズ、アレクサンダー・ヴァレー、シエラ・フットヒルズなど、カリフォルニアを代表するワイン産地を訪問するツアーに出ました。バイヤーがカリフォルニアの広さと多様性を直接体験し、カリフォルニアを牽引する名高いワイン生産者や栽培農家と会う重要な機会となりました。

「グローバル・バイヤーズ・マーケットプレイス」とカリフォルニアワイン協会の輸出戦略

カリフォルニアワイン協会は、カリフォルニアの革新的なワイン生産者と同じく、常に業界の新基準を打ち立て、国内外でカリフォルニアワインの存在感を強化しています。「グローバル・バイヤーズ・マーケットプレイス」は、同州の類い希なワイン産地におけるダイナミックなワイン造りを、業界の第一人者らに紹介するために企画された、最新の体験型プロジェクトです。これは、カリフォルニアワイン協会が2021年から展開しているグローバル・ブランド・キャンペーン「ゴールデン・ステート・オブ・マインド ～ 輝くカリフォルニアの想い」の一環として考案されたもので、カリフォルニアワインがサステナブルなワイン生産、革新、醸造の進歩におけるリーダーであることを紹介するとともに、家族経営の農家やワイン生産者たちが、高品質なワインを造るために何世代にもわたって取り組んでいることをアピールしています。

このキャンペーンは、米国産ワインの輸出額を25億ドル以上に引き上げるという、カリフォルニアワイン協会が掲げる10年戦略の一環です。2021年、米国産ワインの輸出は10.6%増と、2013年以来最も大きな伸びを見せ、総売上は14億ドルに達しました。カリフォルニア州は米国産ワインの輸出の95%を占めていて、イタリア、フランス、スペインに次いで世界第4位のワイン生産地域です。

カリフォルニアワイン協会(本部・カリフォルニア州サンフランシスコ)は、1,000社を超えるカリフォルニアのワイナリー及びワイン関連企業から構成される非営利団体で、ワインの生産や流通や消費に関する政策的な提言を行っています。輸出プログラムにおいては、世界16カ国に事務所を置き、世界30カ国以上でマーケティングとプロモーションを実施しています。ワイン業界関係者・メディア・消費者向け試飲会の実施などをサポートしており、毎年195以上のカリフォルニアのワイナリーが当プログラムに参加、

142 か国にワインを輸出しています。日本事務所は、カリフォルニアワインの普及促進、日本市場における関税、非関税障壁の監視などを目的に 1985 年に設立されました。www.calwines.jp

以上

この件に関する読者からのお問合せ先 カリフォルニアワイン協会日本事務所 E-mail : info@calwines.jp 電話番号 : 03-6629-3658	この件に関する報道関係者様からのお問合せ先 KONDO SAORI OFFICE 近藤 さをり E-mail : saori@saorikon.com 電話番号 : 080-7011-5747
--	---